

## 2022年9月から2023年10月までに CTによる頭部の血管造影検査を施行された方へ

当院では下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使用してほしいと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

### ●研究の名称

頭部CTAにおけるマトリックスサイズが穿通枝の描出に与える影響

### ●研究の対象

2022年9月～2023年10月に当院でCTによる頭部の血管造影検査（頭部CTA）を施行された方

### ●研究の期間

2022年9月から2023年10月まで

### ●研究の目的

頭部CTAは頭蓋内の血管形態の評価が簡便かつ非侵襲的に行うことが出来、形態評価やサイズ計測にも有用です。しかし動脈瘤の手術の際に重要な前脈絡叢動脈(AchoA)の血管径は0.7~2.0mmとかなり細く、CTAで安定して描出するのは難しいとされています。この細い血管を描出するためにマトリックス数を増やすことは有用で、現在主流となる512のマトリックス数を1024に増やすことで前脈絡叢動脈などの血管の視認性向上が期待できます。本研究はマトリックス数を増やしたときに、どの程度微細血管の視認性が向上したかを検討するものです。

### ●研究の方法

通常の診療目的で撮影した画像データから512と1024のマトリックス数で画像を作成し、目的血管の造影濃度を計測します。併せて作成された画像を数人の読影者で読影し、視覚による評価を行います。

### ●研究に使用する情報

情報： 造影CTのCT値および頭部CTA画像

### ●研究組織

研究責任者

札幌秀友会病院 診療放射線科 名雲 北斗

●プライバシーと個人情報の保護の方法

研究から得られた情報は、研究のみに使用します。研究結果は学会等で発表することがありますが、個人が特定されるような情報を公表することはありません。

●資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、ご希望に応じてご自身の資料の要求または閲覧ができます。ご自身の研究結果を知りたいと希望される場合は、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。研究に利用する患者様の個人情報は患者様個人を特定できる情報を削除して管理いたします。

●お問い合わせ先

〒006-0805 札幌市手稲区新発寒5条6丁目2番1号  
札幌秀友会病院 診療放射線科 名雲 北斗

連絡先：(011)685-3333